

平成22年度 県土整備部環境配慮事例報告書

事業主管課	都市計画課
実施機関	東部県土整備局(鳴門)

【事業の概要】

事業の種類	レクリエーション施設	公園緑地の整備(都市公園)
事業箇所名	鳴門総合運動公園	
事業の規模・状況	25.8	ha 小規模事業a 維持管理段階

【事業の目的及び概要】

鳴門総合運動公園内のエントランス広場照明灯を、老朽化により更新するにあたり、太陽光発電を利用したLED照明灯の新規設置を行った。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否

【特に配慮した環境要素と実施事項】

既設、水銀灯照明に比べて、電気使用量及び二酸化炭素排出量が約1/5に削減されるLED照明を採用した。また、ソーラーパネルを設置することで、自然エネルギーの利用も図った。

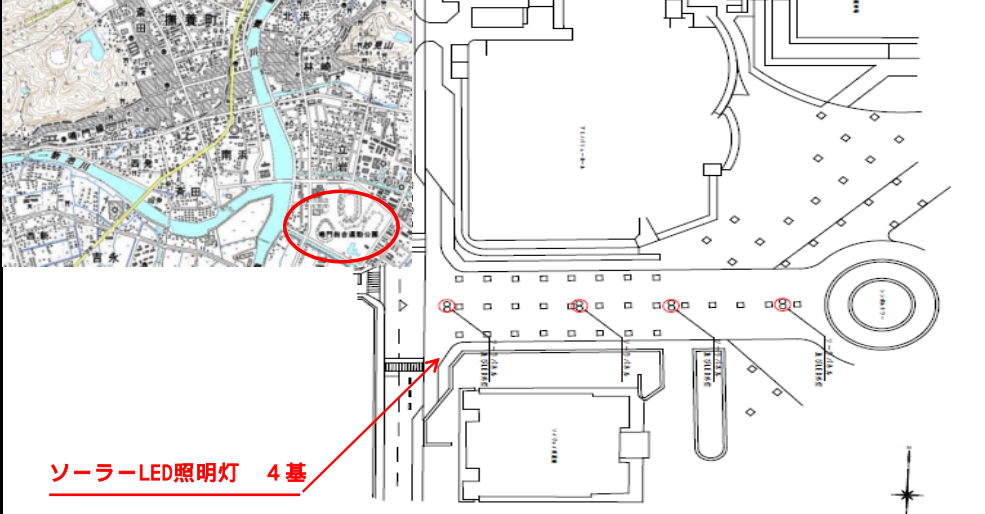
【目標に対する達成状況】

LED照明を採用することにより、1日8時間点灯×365日(1年間)と比較すると、電気使用量が約470kWh(電気料金に換算すると約10千円)、二酸化炭素排出量は、約183kg(杉1年間の吸収量で換算すると約13本分)の削減ができる。

【実施事項に対する評価】

実施者	電気料金及び二酸化炭素排出量の削減が図れるとともに、公園利用者にも自然エネルギーの利用を身近に感じてもらえるようになった。
主管課	老朽化した照明灯を更新するに当たり、太陽光発電及びLED照明灯を採用したことにより、温室効果ガスの排出抑制に寄与できたと考える。 今後もこの取り組みを継続することにより、一層、温室効果ガスの排出抑制に努めていきたい。
専門家	

位置図・平面図等



写真、図面等

